



サネカズラの若い実
(マツブサ科)

実が熟すと赤く、大変美しくなります。



アキノノゲシ
(キク科)

ススキ草原で淡い黄色の花が咲いています。



カエントケ (ポタンタケ科)

ナラ枯れ被害木周辺によく発生しています。大変危険な毒きのこなので、絶対に触らないでください。



オオハナアブ
(ハナアブ科)

オオハナアブがヒヨドリバナの蜜を吸っています。



ホウジャク (スズメガ科)

蜂によく似た形をした蛾で、園芸植物ペンタスの蜜を吸っているところです。

キンモクセイの咲き始め
(モクセイ科)

今年も芳香を放ち始めました。



コマユミ
(ニシキギ科)

初夏花が咲いた後、実が熟し裂開し始めました。



ミツバアケビの若い実
(アケビ科)

実はまだ緑色ですが、今後熟して紫色になり裂開します。

オオスズメバチ
(スズメバチ科)



最近、樹液を吸うためにオオスズメバチが園内各所のクヌギやシラカシの樹皮に集まっています。こちらから刺激しない限りハチは攻撃してきません。オオスズメバチを見つけても、騒がずそっとその場を離れてください。



オオシロカラカサタケ
(ハラタケ科)

写真は幼菌ですが、傘が大きく開きます。有毒です。要注意。



サルトリイバラの若い実
(サルトリイバラ科)

茎には、さわると痛いトゲがあります。柏餅を包むのにこの葉を利用する地域もあります。実は熟すと赤くなり目立ちます。

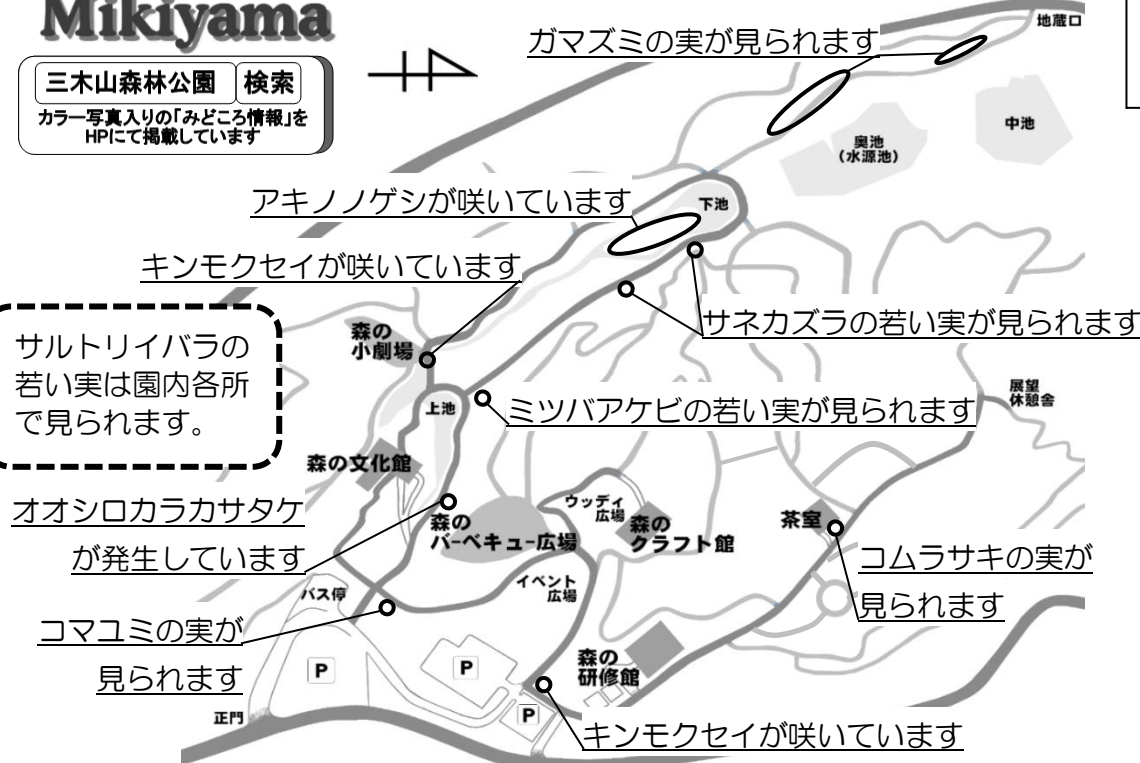
みどころ

令和4年10月上旬

過去の「みどころ」はHPの2ページ目以降にあります

三木山森林公園 検索

カラー写真入りの「みどころ情報」をHPにて掲載しています



ガマズミの実
(レンプクソウ科)

秋になり、実が赤く熟しています。



クロアゲハ (アゲハチョウ科)



三木山ではよく見かけます。逆光気味の光線状態で写しました。

コムラサキの実
(シソ科)

実が美しく紫色に色づいています。

